

■ 支援を受けて・・・

造園業と経費を分ける作業が自身では難しく、専門家の助言を受けて、造園業と農業の各収支が明らかになった。生產品目ごとの利益率がわかり、水稻の有機栽培への一部転換、業務用キャベツ生産開始といった経営の方向性が明確化された。

■ 今後の展開

今後、専門家支援により完成した経営計画を実践する。普及組織による指導のもと、設備・機械の更新計画を基に省力化のための農業機械を順次導入し、水稻の一部有機栽培、えだまめ、業務用キャベツの安定生産に取り組む。

現在は経営主の作業指示が必要だが、構成員がやりがいをもって働けるように徐々に運営を任せていく。

喜びの声

専門家のおかげで経営の方向性が明確になった。引き続き栽培指導をはじめ、ブランディング等販売に関しても応援をお願いします。

専属スタッフ所感

相談者は家族経営協定を締結し、家族みんなが意欲的に働けるよう改善に取り組んでいます。

経営計画の作成を通じて現状の課題が整理され、規模拡大、販売額向上に向けた方向性が決まった。今後実践していく中で予定どおりに進まないことが出てくるかと思いますが、ご家族一体となって乗り越え、目指す農業を実現されることを期待しています。